



説明書を見ながら、レゴマインドストームを組み立てる大河くん

(株)富士通コンピュータテクノロジーズは12月1日、震災復興とものづくりへの関心を深める「家族ロボット教室」を県立産業技術短期大学校で開催。町内小学生とその家族28組が集まりました。

参加した児童はレゴマインドストームを組立て、タブレットでジグザグ走行や色を識別して進行方向を変えるなどをロボットにプログラミング。最後にレースをして、自分で組んだプログラムが思った通りに動かか確かめていました。山根大河くん（矢巾東小3年）は「ロボットを自分の思ったとおりに動かすプログラミングをするのが難しかった」と感想を話しました。

## 小学生ものづくりに関心を 富士通が家族ロボット教室開催

## まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、  
楽しい情報をお寄せください。

役場企画財政課  
(☎ 611-2724)



音声が流れるようにプログラミングして、指示どおりにできて喜ぶ参加者

## 家族や地域の方に感謝伝える 煙山吹奏楽部コンサートを開催



抑揚の利いた演奏をする煙山小学校吹奏楽部の皆さん

11月24日、煙山小学校（小笠原安和校長）吹奏楽部は、吹奏楽に取り組める環境を用意する先生や家族、地域に感謝してメモリアルコンサートを田園ホールで開催。家族や地域の皆さんが鑑賞しました。

部員たちはアニメやドラマなどの主題歌を演奏。日ごろの感謝を記した紙飛行機を飛ばすなど楽しい演出をしました。平成30年9月に北上市で開催した東北大会で披露した「ものけ姫・セレクション」は観客の心に染み入る音色でした。

同部久米川心部長（6年）は「先生や家族、地域のおかげで活動できている。今日のコンサートで恩返しできた」と感謝していました。



ゲゲゲの鬼太郎のテーマ曲に合わせた演出をする部員



### 租税教育を推進 矢巾北中に感謝状

盛岡税務署らで構成される租税推進協議会は12月6日、矢巾北中学校(西郷晃校長)で租税教室を開催。3年生は税金の意義や役割を理解しました。また、長年にわたり租税教育を推進した同校に感謝状を贈りました。



### 大爆笑！歳末助け合い演芸会

12月9日町連合婦人会は、40回目の歳末助け合い演芸会を田園ホールで開催。来場者684人は各支部のユーモアあふれる出し物や、ティーナ・カーリーナさんの美しい歌声を觀賞していました。



### 不来方音楽部 親子向けコンサート開催

田園ホールで12月16日に親子で楽しめる「クリスマスコンサート」を今年も開催。町内保育園児や家族連れなど約800人が鑑賞しました。不来方高校音楽部による全国最高峰の歌声と、幻想的なステージを披露しました。



中谷地紘一同窓会長に決意を述べる  
横場生徒会長

矢巾中学校(佐美庸校長、生徒352人)は昭和34年4月に創立し、平成31年4月に60年を迎える。11月22日同校は、60年の節目を記念して樹木の植樹と式典を実施。昇降口前に植樹したのは、ミツハギ科の落葉高木「サルスベリ」。木の成長とともに、地域や子どもたちが一体となって成長することを願って、校長や生徒会長、来賓者が植樹しました。

式典では、歴代の校長やPTA会長に感謝状を贈り、校歌を歌いました。第61期生徒会長の横場悠河さん(2年)は「矢巾の未来を創るため、多くのことを学べる学校を築いていく」と決意を述べました。

矢巾中創立60年を迎える  
多くを学び矢巾の未来創ると決意



派遣団の高橋駿平さん(矢巾中2年)は文化の違いを伝えた

10月23日から12日間の派遣で感じたことを発表。団長の中野真琴さん(不来方高校教諭)は「生徒たちは弱音を吐かず、たくさんのことに挑戦していた」と現地での様子を伝え、川崎愛華さん(矢巾北中2年)は「玄関を入れてすぐに、リビングがあり、自分の知っている家の作りと違った」と生活様式の違いを話しました。

10月23日から12日間の派遣で感じたことを発表。団長の中野真琴さん(不来方高校教諭)は「生徒たちは弱音を吐かず、たくさんのことに挑戦していた」と現地での様子を伝え、川崎愛華さん(矢巾北中2年)は「玄関を入れてすぐに、リビングがあり、自分の知っている家の作りと違った」と生活様式の違いを話しました。

異文化との交流を糧に成長  
フリモント派遣団が報告